

事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	あいあい静岡宮竹校			
○保護者評価実施期間	令和7年11月4日（火）～			令和7年12月20日（土）
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27人	(回答者数)	18人
○従業者評価実施期間	令和8年1月6日（火）～			令和8年1月6日（火）
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)	4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月8日（木）			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校でもなく、家庭でもなく、第3の居場所として機能していることが多いです。	とりわけ不登校のお子さんについては、あいあいが居場所となるよう、お子さんに寄り添った支援を提供してまいりました。	不登校のお子さんについては保護者様から希望があれば学校と連携をすることもできます。
2	マジックミラー越しに支援場面を見学することができます。	支援場面をマジックミラー越しに見学することができます。お子さんへの関わり方や言葉かけなどについて、指導員がどのようにしているのか見学することができます。	お子さんの支援見学はいつでも可能です。
3	毎回のフィードバックをとおして、保護者様と連携をしてきました。	支援終了後にはその日の支援のよかつたことやがんばりをお伝えしてきました。また、最近の学校（園）や家庭での様子を聞き取り、支援に生かす取り組みも継続してきました。	引き続き、フィードバックの時間を大切にして、保護者様と連携して療育にあたってまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	移転した後のバタバタもあり、新静岡校のときにはできていた保護者会が開催できなかったです。	来年度は移転して1年を迎えることもあり、再び保護者会の開催ができると考えております。	静岡宮竹校での保護者会は駐車場の問題から難しいようであるならば、キラリ高校（旧・新静岡校）を会場に保護者会を開催することも検討委しています。
2	駐車場でご迷惑をおかけしています。	教室前には「2番」の駐車場が1台、堀田内科医院のところには「7番」「8番」の駐車場が2台分、合計3台分の保護者用駐車場を確保しております。	堀田内科医院のところには実際には6台分の駐車場を確保しておりますが、職員も駐車しますので、保護者用は2台分となります。どなたがどの駐車場を利用するのかについては、来年度、あいあいから依頼をしていければと思います。
3	指導員の人数が3名と、他教室と比べると少ないです。	移転した間際ということもあります、指導員の配置は3名と、他教室（4～5人）と比べると少なかったです。	来年度は指導員の配置が増える見込みです。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名	あいあい静岡宮竹校							公表日 2026年 2月 14日
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	2	0	0		個別療育の支援室を3部屋、面談室を1部屋備えております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1	0	1		定員が10名ですので指導員の配置は2人が基本のところ、3人の指導員を備えております。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1	0	1		2階の事業所ですので、バリアフリーという点では難しいところがあります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	0	0	0		定期的に清掃をし、空間を清潔に保つよう配慮しております。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	0	0	1	STの支援の部分がとても自然に行われているようで、具体的にどの点でサポートされているのかよく分からず。	系列のきらりに10名ほどのSTがあります。必要に応じて相談をする体制が整っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	1	0	0		ホームページには一般的なプログラムを掲載しております。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	0	0	0		アセスメントシートと日々の支援記録の積み重ねを経て、個別支援計画を作成する流れになっております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	0		個別支援計画には「本人支援」「家族支援」「移行支援」が盛り込まれた内容になっております。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0		個別支援計画に基づいた支援が提供されるようにしております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	4	0	0		プログラムが固定化しないように、指導員がアイデアを出し合っております。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	5	3	6		他の子どもとの交流をする予定はありません。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0		上限管理のある子については毎月管理結果を説明してまいりました。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0		個別支援計画に則ってプログラムを作成しております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	1	0	1		新静岡校のときはペアレントプログラムの講座を開催してまいりました。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1	0	1	日常的な報告ができる機会は少ない。LINEで報告してよいならそうしたい。	毎回のフィードバックを大切にして連携していくべきだと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	2	0	0	保護者からの話題の切り出して応じてもらっている感じです。	気がかりなことがございましたらいつでもご相談ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0		共感的な支援に心掛けてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	5	4	3		新静岡校の時は保護者会を開催してまいりました。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	2	0	0		お気づきの点がございましたらいつでもご相談ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	0		個人情報に配慮して情報伝達をしていければと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	0	0	0		ブログとインスタグラムで情報配信をしてまいりました。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1	0	0		個人情報の取扱いに十分留意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	2	0	0		各種マニュアルは玄関に配置してあるファイルでいつでも閲覧できる状況になっております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	1	0	0		毎月非常災害の訓練を重ねてまいりました。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われているだと思いますか。	17	0	1	0		とりわけ一人で通所する子については安全に配慮してまいりました。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	2	0	2		万が一の事故の際には速やかに保護者様と連携するようにいたします。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0		安心感をもって通所してもらえるように努力してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	2	0	0		通所を楽しみにしてもらえるように努力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1	0	0		支援に満足していただけるように努力してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あいあい静岡宮竹校				公表日	2026年 2月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個別療育の支援室を3部屋、面談室を1部屋備えております。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		定員が10名ですので指導員2人配置が基本のところ、指導員3人を備えております。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		階段を利用しなければならないため、バリアフリー化については難しいところがある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		定期的に清掃をし、空間を清潔に保てるように配慮しております。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて個別の部屋の提供ができる環境が整っております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		PDCAサイクルには全職員が参画しております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年2月頃にはホームページで事業所評価を開しております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝のMTでさまざまな意見を出し合っております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第3者評価はしておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		発達支援研究所の研修や会社全体の研修など、各種研修に触れる機会があります。		
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページで支援プログラムを公開しております。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントシートと日々の支援記録の積み重ねの上に、個別支援計画を作成しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画の作成には全職員が参画しております。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画に則ったプログラムの作成に努めています。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントシートと日々の支援記録の積み重ねで評価してきております。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画には「本人支援」「家族支援」「移行支援」が盛り込まれております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		プログラムの作成にあたっては全指導員でアイデアを出し合っております。		

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		プログラムが固定化されないように全指導員でアイデアを出し合っております。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別療育が基本ですが、イベントの際などには小集団療育も提供しております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		朝のMTでさまざまな意見を出し合っております。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		<input type="radio"/>		帰りのMTは実施しておりませんが、朝のMTを充実させております。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		支援記録は確実に作成しております。毎月チェックをして作成漏れがないか確認しております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		半年に1度のモニタリング面談を実施してまいりました。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインに則ったプログラムを提供しております。	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		子どもが自己選択できるような支援を工夫してまいります。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		サービス担当者会議が開催されるときには指導員と児発管とで参加しております。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		地域の医療機関、学校、園などと連携しながら取り組む体制が整っております。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		学校の年間行事予定を保護者様からいただき、学校の情報把握に努めております。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		幼稚園、保育園、こども園との連携も必要に応じて進めることができます。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて連携をすることができます。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		とりわけペアレンツプログラムでは、静岡市発達障害者支援センターきらりのスーパーバイズを受けてきた経緯があります。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		<input type="radio"/>		他のこどもとの交流は予定しておりません。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		静岡市自立支援協議会に参加していくようにしています。	
	34 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		フィードバックの時間を大切にして取り組んでまいりました。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		新静岡校のときはペアレンツプログラムの講座を開催してまいりました。	
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		上限管理のある子については毎月管理結果を説明してまいりました。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画の説明の際には保護者様の意向を聞き取るように配慮してまいりました。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画には保護者様のサインをいただいてきました。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		気がかりな点についてはいつでもご相談ください。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		新静岡校のときは保護者会を開催してまいりました。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		苦情があったときには教室内だけでなく、すばやく上長にも報告をあげて、組織的な対応を心掛けております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		ブログとインスタグラムで情報配信をしてまいりました。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		個人情報の取り扱いには十分に留意してまいります。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		個人情報に留意して情報伝達をしてまいります。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>		地域住民を招待する企画は予定しておりません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		各種マニュアルは玄関に設置してあるファイルでいつでも閲覧できる状況になっております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		BCPを策定し、訓練を経験してまいりました。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントシートをとおして服薬や病歴などを把握してきております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		イベントでお菓子を配布するときには食物アレルギーの有無について確認をしてまいりました。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		とりわけ一人で通所する子については安全に配慮してまいりました。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		とりわけ一人で通所する子については保護者様とLINEで連携をしてまいりました。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハットを共有し、安全点検に生かしてきております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		会社全体での虐待防止研修に参加してまいりました。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		会社全体での身体拘束適正化の研修に参加してまいりました。	